

事業番号	事務事業名	子育て短期支援事業	所管課名	保健福祉課	令和 3 年度課長名	安道 智秋
01842	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	子育て支援係	担当者・シート作成者
	施策名	16	子育て支援の充実	根拠法令等	鏡野町子育て短期支援事業実施要綱	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・事業実施を委託する児童養護施設と委託契約を締結。 ・ホームページや子育てアプリ、パンフレット等で事業を周知。 ・利用相談→申請受付及び施設との調整→利用決定、委託通知→施設からの事業実施報告及び請求書→費用の支払い	核家族化の進行、ひとり親家庭や精神的に不安定な親の増加等児童を取り巻く状況が複雑化しており、児童の養育が一時的に困難になる場合や緊急的に保護することが必要となる場合に児童の養育・保護を適切に行う必要があるため、令和2年度より事業を開始した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 町内に住所がある18歳未満の児童	ア 18歳未満の児童数	人	見込 実績		2,000 1,999	2,000 1,870	1,900	1,900
イ 町内に住所がある18歳未満の児童の保護者	イ 18歳未満の児童のいる世帯数	世帯	見込 実績		1,012 1,010	1,000 975	970	960
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 児童の養育が困難であったり児童の保護が必要になった世帯に適切な養育・保護を提供する	ア 適切な養育・保護が提供された人数(利用者数)	人	目標 実績 達成率		4 1 25.0%	4 2 50.0%	4	4 50.0%
イ 緊急保護等が必要な児童を安全に保護できる	イ 安全に保護された児童数(利用児童数)	人	目標 実績 達成率		4 2 50.0%	4 3 75.0%	4	4 75.0%
ウ	ウ 利用延べ日数	日	目標 実績 達成率		28 18 64.3%	28 9 32.1%	28	28 32.1%

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 申請に伴う事務処理	ア 申請件数	件	目標 実績 達成率		4 2 50.0%	4 3 75.0%	4	4 75.0%
イ 委託契約	イ 委託施設数	ヶ所	目標 実績 達成率		2 2 100.0%	2 2 100.0%	2	2 100.0%
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 03		項 02		目 01		大事業 中事業		予算上の事業名			事業番号			
	一般会計		民生費		児童福祉費		児童福祉総務費		07	11	子育て短期支援事業			01842			
予算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比	決算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比				
国庫支出金		62	62	62	62		国庫支出金		62		62	62	-62				
県支出金		62	62	62	62		県支出金		32		62	62	-32				
町債							町債										
その他特財							その他特財										
一般財源		103	103	103	103		一般財源	2	48	103	103	46					
合計		227	227	227	227		合計(A)	96	48	227	227	-48					
財源名称	子ども・子育て支援交付金						従事正職員人数		1	1	1	1					
	岡山県子ども・子育て支援交付金						延べ業務事務時間		10	10	10	10					
							人件費計(千円)(B)		33	34	34	34	0				
	最終予算額		227 千円		予算執行率		21.1%		トータルコスト(A+B)			129	82	261	261	-48	
主な支出事業内容(予算)	委託料						227 千円		主な支出事業内容(決算)	委託料						49 千円	

事業番号	01842	事務事業名	子育て短期支援事業	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	-----------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
児童福祉法第6条の3第3項に規定する市町村が実施する事業について、「子育て短期支援事業実施要綱」が定められ、平成26年4月1日から適用されることとなった。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
特になし
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
要保護児童対策地域協議会の取組みの中で、本事業の早急な実施が求められていた。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 児童を養育している保護者が一時的に養育が困難になった場合に、事業を委託した児童養護施設で児童を保護することは、児童及びその家庭の支援につながるため政策体系に結びつく。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せるとはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明	疾病等の社会定理由により一時的に児童の養育ができなくなった子育て世帯を支援する事業であるため、行政が取り組むべき事業である。
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明	18歳未満の児童の保護者のうち、社会的事由により一時的に児童の養育ができなくなった保護者とその子どもを対象としているため、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 事業は適切な児童福祉施設に委託しており、対象者も限定されるため向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明	類似事業はなく、廃止した場合、子育て支援の妨げとなるため廃止はできない。
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明	方法・手段は適切で、改善余地はない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 類似事業はなく、廃止した場合、子育て支援の妨げとなるため廃止はできない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明	最小限の人数で業務を行っており、個人情報保護の観点から委託もできない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	・今年度も2家庭(3名)の利用があった。その内、1家庭は令和2年度に利用実績のある方で、委託施設との信頼関係もできており、安心して利用ができています。																						
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 ・さらなる制度の周知を行っていく。 ・利用料がネックとなって利用に至らない事例が過去にあり、利用料の見直しを、近隣市町村の動向を見ながら慎重に検討していく。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																								

(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)